

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語 I	
科目基礎情報							
科目番号		0005		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		エコデザイン工学専攻		対象学年	専1		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (成美堂)、自作handout					
担当教員		富田 尚					
到達目標							
①TOEICで扱われる英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙を豊富にする。 ②TOEICで扱われる英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文を適切に活用できる。 ③習得した語彙・文法・構文を基に英文を読み、その意味内容が理解できる。 ④習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴き、その意味内容が理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
語彙	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙が十分身についている。		英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙が身についている。		英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる語彙が身につけていない。		
文法・構文	英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文が十分身につけている。		英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文が身につけている。		英語を読む、書く、聴く、話す際に必要となる文法・構文が身につけていない。		
読解力	習得した語彙・文法・構文を基に英文を読み、その意味内容が十分に理解できる。		習得した語彙・文法・構文を基に英文を読み、その意味内容が理解できる。		習得した語彙・文法・構文を基に英文を読むが、その意味内容が理解できない。		
聴解力	習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴き取り、その意味内容が十分に理解できる。		習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴き、その意味内容が理解できる。		習得した語彙・文法・構文を基に英文を聴くが、その意味内容が理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1 JABEE 1(2)(f)							
教育方法等							
概要	この授業は、TOEICテストの問題演習を行うことを通して、英語 4 技能のうち特にListeningとReadingのレベルを向上させることを目標とする。 各Unitのテーマは、Everyday Lifeに関するものである。						
授業の進め方・方法	講義及び演習						
注意点	・必ず予習をして臨んでください。 ・復習をして文法や語彙の定着を図ってください。 ・音声CDを利用してリスニングや音読に取り組んでください。 ・授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション Unit 1 Restaurant		授業の進め方解説 テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		2週	Unit 1 Restaurant Unit 2 Department Store		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		3週	Unit 2 Department Store		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		4週	試験 (I) (Unit 1 - 2)		学習範囲の試験		
		5週	試験 (I) 返却 Unit 3 Train Station		試験 (I) 解説		
		6週	Unit 3 Train Station		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		7週	Unit 4 Transportation		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		8週	Unit 4 Transportation		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
	2ndQ	9週	試験 (II) (Unit 3-4)		学習範囲の試験		
		10週	試験 (II) 返却 Unit 5 Post Office		試験 (II) 解説 テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		11週	Unit 5 Post Office		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		12週	Unit 6 Bank		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		13週	Unit 6 Bank Unit 7 Airport		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		14週	Unit 7 Airport		テーマに沿った語彙・フレーズを習得する		
		15週	試験 (III) (Unit 5 - 7)		学習範囲の試験		
		16週	試験 (III) 返却、アンケート		試験 (III) 解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合			
	試験	課題	合計
総合評価割合	85	15	100
基礎的能力	85	15	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0